

## 事務事業評価シート(平成26年度実績分)

### (1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名
61221	協働のまちづくり推進事業	まちづくり政策課	まちづくり係	山田 勝己	赤羽 裕治
		一次評価年月日	平成 27 年 6 月 12 日	連絡先〔内線〕	2221
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0207		企画事務	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	#N/A			
	第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	6章	参加と交流のまちづくり
		節	(コード選択)	1節	協働のまちづくりの推進
		項〔基本施策〕	(コード選択)	2項	地域コミュニティの活性化
目〔主な施策〕		(コード選択)	2目	地域活動への支援	
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) 16 年度 ~ (終了予定)	年度	<input type="checkbox"/>	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし

### (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。
町民により構成された地域活動を行う団体(隣組・町内会・区などの地域組織・企業・住民グループ・ボランティア・NPO等)で、町内において公共的活動又は地域の活性化に資する活動を営む団体
②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。
民間・地域からの発意と発想を生かし地域の為になる公共的活動を積極的に展開させ、町・地域の活性化を図る
③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。
1 地域団体が行う活性化に繋がる事業に対し補助をする
2 各事業の公共性を高めるため、申請団体と重点的にヒアリングを行う
3 事業を計画している新規申請団体等の相談を受け、必要に応じて申請から実施までのアドバイスを行う
4

### (3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		25年度	26年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)
① 指標名	事業採択団体数	13	12	12	1.00	14	
① 説明	事業を新規におこし活性化の為の事業を行った団体	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 支援金事業の周知・定着を図り、地域住民のまちづくりへの参画意識を向上させ、多くの団体に実施してもらう。					
② 指標名						0	
② 説明		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等					

### (4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		25年度	26年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)
① 指標名	事業予算額に対して採択した補助金の割合	98	98	95	0.97	95	
① 説明	事業の目的、効果をヒアリングによりしっかり把握し、各団体に公共性の高い事業実施をはたらきかけ、また予算の有効活用を図る	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 より多くの団体が支援金を有効に活用し、事業を実施することで、地域の活性化が図れる。					
② 指標名						0	
② 説明		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等					

### (5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法  決算書・予算書等に記載の数字  按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度											
			決算	決算	決算	見込み											
対前年比		%		102.5	102.8	95.8											
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		(千円)	2,897	2,945	3,166	3,000											
B) 一般財源(税金)		(千円)	3,691	3,807	3,778	3,651											
①事業費		(千円)	2,897	2,945	3,166	3,000											
対前年比		%		101.7	107.5	94.8											
②人件費の概算		(千円)	3,691	3,807	3,778	3,651											
対前年比		%		103.1	99.2	96.6											
			年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費											
			H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27			
町職員(正規職員)			0.01	0.01	0.01	0.14	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	0.41	0.41	0.41	0.56	0.56	0.57
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果	
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある C 減少傾向にある	B 変化していない D かなり減少している 住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください 支援金事業の計画書提出状況により
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	A	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 必要性がない
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
効率性	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 事業内容によっては県の「地域発元気づくり支援金事業」への申請に変更を薦める。
	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性はありますか	A	A すでに実施している B 可能 C 困難 D 検討中	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 地域活動を行う団体との協働のための支援事業そのもの。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口**を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する     イ. 見直しのうえで継続する     ウ. 終期設定     エ. 廃止     オ. 休止

<今後の展開方針>(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

改革改善案(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等を記入します。)	27年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
・年度末に「事業実績報告会」を開催することで、活動団体相互の情報交換と、町民への協働事業のPRができる。 ・平成27年度にあたっては、26年度実施の「よりあい会議」に出された事業を優先的に採択する方向とする。(予算上限枠の増額、重点枠と一般枠を作る等)	[反映内容] 協働のまちづくり支援金事業補助金

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
協働のまちづくり支援金については住民への理解も進み、事業として定着している。平成26年度は、当初予算では足りず補正対応となった。今後も住民主体の協働活動が継続できるよう充実していく。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 **口**を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持     イ. 見直しのうえで継続する     ウ. 終期設定     エ. 廃止     オ. 休止

上記 a~e を選択